

## ふくしまと韓国の架けはしプログラム（招へいプログラム） 対象国：韓国，テーマ：「今の福島の現状を正しく伝える」の記録

### 1. プログラム概要

8月1日から10日まで、日本文化に関心の高い韓国青少年の一行100人が訪日しました。一行は9泊10日の日程のうち、7日間福島に滞在しながら農業体験を通じて「今の福島の現状を正しく伝える」ことを目的としたプログラムに参加しました。

地元最大の夏祭りである「わらじ祭り」に参加して、わらじ音頭を踊ったり、市民グループが実施する夏祭りを通じて、地域の住民と顔の見える交流を行いながら、韓国の青少年は地域のみなさんの手作りの食べ物を食し、福島の農産物が安心して食べられることを知りました。さらに、ファームステイを通じて、農業関係者との意見交換・交流会も実施、農産物収穫体験をしました。続いて、農業短期大学の学生たちと交流し、農業にかかわりを持ち福島の未来を担う学生と真剣に意見交換しました。また、他に神奈川県、東京都、千葉県でも視察等を行いました。

一行は、プログラム中、各地域の伝統文化、伝統産業、ものづくりへの姿勢、製品と農産品に強い関心を示し、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プランについてグループ毎に発表しました。

#### 【訪問地】

福島県、神奈川県、東京都、千葉県

### 2. 日程

8月1日（月）

入国（仙台空港）、【視察】旧堀切邸（足湯体験）、【交流】地域の祭り形式の歓迎会、地元の農産物展示

8月2日（火）

【体験】桃農家見学・桃狩り体験（福島の農産物安全に関する理解）、【学校訪問】福島県農業総合センター農業短期大学校（農産物収穫体験）、福島県立あさか開成高等学校、福島県立須賀川高等学校

8月3日（水）

【講義聴講】会津若松、鶴ヶ城の歴史、【文化体験】赤べこ絵付け、【視察】鶴ヶ城、大内宿、【交流】ファームステイ

8月4日（木）

終日，ファームステイ（野菜の収穫などの農業体験含む）

8月5日（金）

【交流】町のみなさんの協力による浴衣の着付け，【文化体験】わらじ祭り参加（踊り体験）

8月6日（土）

神奈川県へ移動，【視察】横浜中華街，お台場，日本科学未来館

8月7日（日）

【視察】国立西洋美術館，国立科学博物館，江戸東京博物館，秋葉原

8月8日（月）

【視察】浅草・仲見世，福島県へ移動，【文化体験】温泉旅館体験

8月9日（土）

報告会，【交流】日韓学生交流会

8月10日（日）

出国（仙台空港）

### 3. プログラム記録写真

	
8月1日 地域住民（農家）参加の歓迎会 （福島県福島市）	8月2日 桃の収穫体験（福島県福島市）
8월 1일 지역주민（농가）참가형 환영회（후쿠시마현 후쿠시마시）	8월 2일 복숭아 따기 체험（후쿠시마현 후쿠시마시）

	
<p>8月2日 桃の畑での放射能関連説明(福島県福島市)</p>	<p>8月2日 須賀川高等学校訪問および交流(福島県須賀川市)</p>
<p>8월 2일 복숭아 밭에서 방사능 관련 설명(후쿠시마현 후쿠시마시)</p>	<p>8월 2일 스카가와고등학교 방문 및 교류(후쿠시마현 스카가와시)</p>
	
<p>8月3日 福島の伝統玩具 赤べこ塗り体験(福島県会津若松市)</p>	<p>8月3日 大内宿視察(福島県南会津郡)</p>
<p>8월 3일 후쿠시마전통완구 아카베코 칠하기 체험(후쿠시마현 아이즈와카마츠시)</p>	<p>8월 3일 오우치숙박소 시찰(후쿠시마현 미나미아이즈군)</p>
	
<p>8月3日 ファームステイ入村式(福島県南会津郡)</p>	<p>8月4日 南会津川で魚の手づかみ体験(福島県南会津郡)</p>
<p>8월 3일 팜스테이 입촌식(후쿠시마현 미나미아이즈군)</p>	<p>8월 4일 미나미아이즈 냇가에서 물고기 잡기 체험(후쿠시마현 미나미아이즈군)</p>

	
<p>8月5日 わらじ祭り参加 (福島県福島市)</p>	<p>8月7日 江戸東京博物館視察 (東京都墨田区)</p>
<p>8월 5일 후쿠시마 전통 와라지축제 참가 (후쿠시마현 후쿠시마시)</p>	<p>8월 7일 에도도교박물관 시찰(도쿄도 수미다구)</p>
	
<p>8月8日 日本伝統食 もんじゃ焼き体験 (東京都中央区)</p>	<p>8月9日 日本温泉旅館と地産地消メニューの食事体験 (福島県二本松市岳温泉)</p>
<p>8월 8일 일본전통음식 몬자야키 체험 (도쿄도 중앙구)</p>	<p>8월 9일 일본온천여관과 지산지소 메뉴 식사를 체험(후쿠시마현 니혼마츠다케온천)</p>

#### 4. 参加者の感想 (抜粋)

##### ◆韓国 学生

- ・美しい自然, 澄んだ空気, 親切な日本人の配慮を長い間忘れることはないと思う。これから旅行をする機会があれば, 一番先に福島を訪ねるつもりだ。
- ・今回の訪日を通じて学んだことが多い。美味しい食べ物, 日本人のマナー, 清潔な街並などを韓国の人たちに伝えたい。
- ・福島に対する否定的な誤解, 偏見(風評被害)をなくしたい。福島の放射能に対して疑い, 来日3日前から悩んだが, 私の人生の転換点となった。
- ・かつての歴史のことで日本に対する偏見と誤解を持っている人に, 私が経験した事を伝えたい。日本人の情, 田舎に行っても見える科学技術, 福島に対する誤解など, 私が今回の経験で感じたことを伝え, 嫌がる人々の誤解を解くために努力したい。

・今回の交流を通じて福島の大変さを知り、みなさんの親切と細かい配慮に感銘を受けた。今後、私が指揮している合唱団とここに来て演奏交流をしたいと思った。家族旅行や演奏旅行には必ず福島に寄りたい。

・韓国に戻ったら、今回の文化交流に参加した学生たちと一緒に日本での経験を他の人に知らせ、福島に対する偏見と先入観をなくすように努力したい。

#### ◆韓国 社会人

・将来、両国間の経済、政治、社会、文化に対する理解を深めるために交流事業に参加し、両国の良いところを分かちあうことに協力していきたい。

・日本に初めて来て、韓国に帰りたくないほど楽しく幸せだった。ファームステイの時も、言葉は通じなくても温かい配慮で感動した。情が移って別れ際にはさびしかった。

### 5. 受入れ側の感想

#### ◆ 韓国語を専攻する学生

・10日間が本当に幸せな時間でした。福島が故郷の私にとって、韓国の青少年100人と福島で会えることができると知ってそれだけでわくわくしましたが、韓国語の通訳をしたり、地元の学生たちと韓国の学生たちが楽しく過ごし、友達になっている姿をみて、うれしかったです。今回の交流を通じてお互いに顔を合わせることの大切さを痛感しました。韓国の学生が福島の安全を知ると、とても積極的に福島を楽しんでいたのが印象的でした。私は将来、福島に戻ってこのような交流を活発に行いたいと思っています。

#### ◆ 歓迎会の受け入れの地元小学校（福島市町庭坂小学校）

・明るく素敵な韓国から青少年の交流団が2年続けて来てくれるなんて夢のようでした。福島に来てくれて本校の体育館で交流会を行うことによって、本校の学生はもちろん、町のみなさんも元気になりました。昨年より多くの方が参加するようになって、特に農家との連携がうれしいと思います。福島の農産物がいかに安全か、福島のみなさんが元気に暮らしていることを韓国に伝えていただけることを期待しています。

#### ◆ ファームステイ受け入れ家庭

・かわいい、明るい、素敵、韓国から来た学生たちのやさしさに触れました。言葉もあまり通じていないのに、一生懸命話しかけてくれて、孫と一緒に野菜を収穫しては料理を手伝ってくれたり、離れていた家族が戻ってきたような幸せな時間でした。

・日本が大好きだといってくれたことがうれしかったです。どんな料理でも、美味しそうに食べてくれました。礼儀正しく、お年寄りを大事にする姿勢が感じられ、日本と韓国のことをいろいろと比較することも楽しくて、時間が経つこともわかりませんでした。このような韓国の学生たちが毎年来てくれるといいなあと思ったほどでした。気持ちが温かくやさしいと感じました。

・最初は放射能が怖くて福島にくることを悩んだそうですが、安全な所が多く、皆がやさしいと知って、福島のファンになったと言ってくれました。桃が美味しかったことをとてもうれしい顔で話し、食べ物が似ていることも多いようで何でも食べてくれました。韓国の子の写真も見せてくれたり、とても積極的なみなさんで、別れるのが辛かったです。韓国から楽器を持ってきて演奏会をやってくれたのが忘れられません。

◆訪問先で交流した日本側の学生

・韓国語を学んで初めて使うことが出来ました。韓国の学生が来てくれるなんて信じられないくらいでした。お互いの学校生活や友達のこと、将来の夢について話し合いました。別れ際に、日本が好きになったと言ってくれて泣きました。これからも連絡して、韓国で会う約束をしました。

・韓国人に会うのも、少しだけ準備した韓国語を使うのも初めてでした。韓国の子は格好いい、かわいいと思いました。韓国に行きたいと思い、それを実践しようと思います。交流した後も、SNSを通じて話したりして、いつも隣にいる友達のように感じられます。12月の韓国交流会が楽しみです。

・福島に来る前に怖くてやめようとしたと聞いて驚きました。でも、帰国したら周りの誤解している韓国人に伝えると言ってくれました。また、福島に来るというのでうれしくて、私たちも韓国に行ったら会うことにしました。今回のような日韓交流の機会がもっとたくさんあるといいなあと思いました。

6. 参加者の対外発信

	
<p>—福島の遺跡，建造物の魅力を発信</p>	<p>・あさか開成高校での日本人の高校生と交流，福島の桃の美味しさにも驚いたという</p>
<p>・ 후쿠시마의 유적, 건축물의 매력을 발신</p>	<p>・ 아사카카이세이 고등학교에서의 일본인 고등학생과 교류, 후쿠시마산 복숭아가 너무 맛있어서 놀랐다고 함</p>

 <p>문진성さんが写真30件を追加しました — 박재호さんと一緒です。 8月11日 · 木</p> <p>일본 다시 가면 팜스테이 다시하고 싶다. 아오바 보고싶고 할무니 보고싶네.ㅠ ㅠ</p>	 <p>서자원 8月4日 · 木</p> <p>일본후쿠시마 방사능 걱정은 안된다..민속촌에서 한방</p>
<p>--南会津のファームステイでのことを発信 ・日本の農家の暮らしや人々のやさしさに触れ、 地方文化と普通の暮らしを理解した。</p>	<p>放射能の誤解に対して直接的に言及した発信</p>
<p>--미나미아이즈 팜스테이에 대해 발신 ・일본 농가생활이나 사람들이 정이 많은 것을 느끼고 지방문화와 일상생활을 이해했다.</p>	<p>방사능 오해에 대해 직접적으로 언급한 발신</p>
 <p>정주호가さんが写真13件を追加しました — 友童 세희さん、他3人 8月8日 · 東京都東京都台東区 · 木</p> <p>얼마안남았습니대!!!! 힘나요!!! #를류탈락 #노는거아니라구 #판다</p>	 <p>권설 8月10日 · 木</p> <p>8월 1일 인천국제공항에서 일본 센다이 공항으로 가는 길 악기를 확실히 보내는데 오버자치가 생겨 한참을 기다려서 겨우 비행기에 실었다. 4일 오후에 타다미 지역에서 작은 연주회를 하고, 9일 저녁 일본 학생들의 환영회와 그동안 수고해주신 분들께 감사한 마음을 전하고자 연주를 했다. 비행기에 실을 때는 그전에 악기도 포장하고 이동하는 내내 악기를 들고 다니느라 솔직히 힘들었는데 연주를 듣는 현지인들의 모습에 힘드 건 짝 잊게 되었다. 내가 한 연주는 정말 작은 감사의 표시였는데 크게 받아주셔서 그저 감사할 따름이다. 10일 센다이 공항에서 인천국제공항으로 돌아올 때 조심히 가고 다음에 또 오라는 인사와 함께 악기 싣는 문제까지 다 해결해주셨다. 열흘간 너무나 행복한 시간을 보내서 그저 좋았다. 감사하고 좋았다. 이런 기회가 또 왔으면 하는 바람이 솔직히 있다. 살면서 잊지 못할 추억이 생겼다. 기분이 좋다^^</p>
<p>--東京視察中の楽しい体験を発信 ・ 도쿄시찰중에 즐거운 체험을 발신</p>	<p>報告会を終えて、地元庭坂の皆さんへの感謝の気持ちを伝える演奏会を発信。</p>
<p>· 도쿄시찰중에 즐거운 체험을 발신</p>	<p>보고회를 마치고 니와사카 주민들에게 감사의 마음을 전하는 연주회를 발신.</p>

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>—青少年交流に参加した韓国団のご両親から構成された、福島との農業者交流を企画</p>	<p>—福島でミニ演奏をしたチームが、2017年1月初旬の福島での演奏会を開くために日本語勉強会を始める</p>
<p>—청소년교류에 참가한 한국단원 부모님으로 구성된 후쿠시마와의 농업자교류를 기획</p>	<p>—후쿠시마에서 미니 연주를 한 팀이 2017년 1월 초순, 후쿠시마에서 연주회를 열기 위해 일본어 공부회를 시작함</p>